

# 福岡市 私幼 だより

No.  
87

2013年  
なつ号



連載

なるほど!

となりの  
園内研修!!

Vol. 2

『臨床美術』で  
個性を引き出す

ズバリ「IT化」で  
効率アップ!

福岡市  
保育  
コンシェルジュ

子ども・子育てに  
優しいまちを  
目指して

今回は  
あさひ幼稚園  
と  
貝塚幼稚園

母親学級講座 「おふくろの味で心は育つ」  
古川年巳先生

中堅教師研修会 「『保育する』ということ  
改めて考える」  
ダーリンプル規子先生

一般社団法人 福岡市私立幼稚園連盟  
URL <http://www.fyr.or.jp>

■編集/広報委員会 ■事務局/福岡市早良区西新7丁目13-1 福岡市私立幼稚園教育センター  
■印刷/株式会社ページ 発行年月日 2013年9月30日 TEL (092) 822-0080 FAX (092) 822-0094

平成25年度の定時総会も無事終了し、幼稚園連盟の会長職を拝命して1年が過ぎました。マラソンに例えるなら、ちよと折り返し地点を過ぎたところ、箱根駅伝なら往路を走り終えて帰路の勝負に差しかったところでしょうか。

さて「箱根の山は天下の剣」と言われるように、万丈（ばんじょう）の山、千仞（せんじん）の谷の連続ですが、これから私たちが進む道も、箱根八里と同様に、決して平坦ではございません。上り坂、下り坂はもちろんですが、思いもしない、まさか！が待っていると思はします。

そんな中、全国政令指定都市の各行政から、それぞれの都市の幼稚園団体への運営費を見ると、福岡市は断トツのトップを走っています。また幼稚園教育センターという自前の建物を持っている団体も福岡私幼連だけなのです。このことは福岡の先人先達の諸先生のご功績がいかに偉大であったか、ということを物語っています。



福岡市私立幼稚園連盟  
会長 柿迫 重正

時代は刻々と変化していますが、困難はどの時代にもつきものです。きつと過去は過去であらゆる困難があったことでしょうか。しかし、その困難の壁を突破してくれた諸先生がいらっしゃったからこそ、今の時代も消えることなく受け継がれている恩恵を私たちは享受していることに深い感謝と敬服の意を込めて、これから直面するあらゆる多事多難に微力ながらも立ち向かっていきたいと思はします。

国の「子ども・子育て支援新制度」の流れを受けて福岡市でも地方版「子ども子育て会議」が立ち上がりました。特に本市では、高島市長が平成26年4月までにすべての待機児童を解消すると公言しているため、私立幼稚園の新認定子ども園への移行を踏まえた議論や要請がにわかに加速することになるでしょう。

「幼児教育の無償化」も漸次実現の方へ向かっていると聞いていますし、冒頭の「箱根八里」ではございませんが、我々は今まで経験したことがない上り坂や下り坂へ着実に近づいていることは間違いありません。

一般社団法人としての1年目が、たとえ茨の道になろうとも与えられた任を全うすべく全力で完走する所存ですので、あらためて会員の皆様のご理解ご協力を伏してお願ひ申し上げます。

子ども・子育てに  
優しいまちを  
目指して

# 福岡市 保育コンシェルジュ

私たちが  
保育コンシェルジュです

相談時間は区によって異なります。  
詳しくは子ども未来局子育て支援課へ  
お問い合わせください。

お気軽に  
ご相談ください

「保育コンシェルジュ」とは…  
横浜市が全国に先駆けて役所に配置した  
保育サービス専門相談員のこと

福岡市は、保育コンシェルジュによる保育の相談業務を全7区役所内で今年度より開始しました。  
主な業務としては、下記のとおりです。

- ①保育サービスの利用に関する情報提供と相談業務
- ②保育園・幼稚園への入園希望者の相談業務
- ③保育資源・サービスの情報収集業務

保護者の就労状況や子どもの預け先について個々のニーズを聞き出し、最適な保育サービスを紹介しています。

今後は保育コンシェルジュの方々と密に連携し待機児童解消策の一つとして、幼稚園も預け先の一つとして保護者の選択肢を広げてもらえるように働きかけていきます。

保育コンシェルジュに関するお問い合わせは…  
子ども未来局子育て支援課  
(TEL) 711-4114 (FAX) 733-5718

**東区**  
吉松シズエさん  
趣味: グルメ(食べ歩き)

**中央区**  
原田 伸子さん  
趣味: 家庭菜園での野菜作り

**博多区**  
佐用ルミ子さん  
趣味: 体カづくり (ジム・水泳)

**西区**  
大久保真理子さん  
趣味: お花を育てること

**城南区**  
松尾はるかさん  
趣味: 羊毛フェルト作り

**南区**  
丸子眞智子さん  
趣味: 陶芸

**早良区**  
豊田由美子さん  
趣味: 子どもといろんな所に行くこと (ドライブ)

## 新規 平成25年度 採用教師研修会



日時：平成25（2013）年5月15日（水）

15：30～17：00

場所：私立幼稚園教育センター

出席：60園 91名



荒金 美沙先生



志賀 紀香先生

先輩の実践発表を聞いて

松原こひつじ幼稚園

教諭 石井 優

今回の新任教師研修会では、「保育の実際」ということで、博多中央幼稚園の荒金美沙先生と、下山門幼稚園の志賀紀香先生のお話を聞かせていただきました。お二人とも昨年度の新任の先生でいらっしやるということで、今の私たちにあって、とても共感できるお話でした。

発表では、1年間を通して日々の保育の中で経験されたことや、楽しかったこと、大変だったことなどをお話しされました。憧れの幼稚園の先生になって間もない私は、この1ヶ月程の保育を振り返って反省することばかりで、また、とても勉強になりました。

あつという間に終わってしまう日々の保育の中でも、ちょっとした声かけや子どもとの会話の大切さを改めて感じ、見直していきたいと思いました。また、行事などで本当に忙しく、仕事を辞めたいと思ったときも、子どもたちに会えばそんなことも吹き飛んでしまうと言われていて、この仕事の素晴らしさを感じることができました。

前に立ってお話をされる先輩方は、本当にいきいきとしていて、特に子どもたちの話されるときは、目の前に子どもたちがいるように優しい表情をされているのがとても印象的でした。今回の発表を聞いて、楽しいことばかりではなく、つらいことや大変なこと、たくさんあると実感しましたが、それでも、子どもたち一人ひとりと向き合っていて、今できることを必死にされている先輩方のような先生に、私もなりたいたいと思いました。お忙しい中、私たちのために発表をしてくださった先輩方、ありがとうございます。

## 中堅教師研修会 演題：「『保育する』ということをも改めて考える」



日時：平成25（2013）年7月5日（金） 15：30～

場所：私立幼稚園教育センター 出席：16園 23名

講師：中部学院大学短期大学部幼児教育学科 ダーリンフル Dairymple 規子先生

今回の研修では、幼稚園の先生という憧れの職業についてから現在までの自分の心の軌跡をたどり、改めて「保育する」ということを考える時間となりました。中でも、自分の心に一番響いたことは、津守真著「保育者の地平」の文章でした。

『三、四年目になり、特に際立ったことのない普通の日、子どもと一緒に歩む保育者の一足一足の中に子どもの世界があることを悟った。そのことを意識しないと私どもは日常の惰性に流されやすい』と書いてありました。

幼稚園の先生になって5年目の今、保育の引き出しも増え、自分の心にも余裕が持てるようになりました。しかし、経験が増えたゆえに、目の前にいる子どもをじっくりと観察することなく、過去の事例から対応を考えることも増えていました。子どもひとりひとりをよく観察していたらどうか…と自分自身を振り返りました。

保育者として大切なことは「記録をとること」と規子先生はおっしゃっています。記録をとることは、その子のことを思い出して考えるからです。考えることで、子どもの事

をより深く知り、次に繋がっていきます。

子どもの成長は、小学校のテストの点数のように「目にみえる」ものばかりではありません。心の成長、人間関係、遊び方など、変化を記録していくことで成長を振り返り、共有することができます。

最後に、「保育する」ということを、規子先生はこうまとめています。

～保育の基本は、子どもの命を守ること、子どもを愛すること～

「子ども自身の力を信頼することと、保育者が互いに尊重し合い、共に考えることと、子どもを人間として育てることの実践と研究を不断に追及し続けること」

働き始めたばかりの頃、無知ゆえに「この子はどうして怒っているのかな？」「この子はどんな子なんだろう」とひとりひとりを深く知ろうと一生懸命子どものことを見ていたように思います。いつまでも、初心を忘れず、子どもたちの事を深く知っていきたいです。

(郡司理恵子)

学生を応援!

# 就職 キャラバン隊!

園児募集もさることながら、  
教職員募集に苦慮する時代と言  
われて久しい中、今年度も幼児  
教育を目指す学生の皆さまに  
「幼稚園は最高の職場です」を  
テーマに近郊10校を巡り、  
「就職説明会」と題してPR活  
動をして参りました。

その活動の目玉であるOB・OGの先生には、就職した園での具体的  
なお話をしていただき、ゆらゆらと気持ちが揺れていて不安いっぱい  
の学生の背中をポンッと後押しすることができたのではないでしょ  
うか。また、就職までの流れの説明を行い、学生から多くの質問がな  
され、とても爽やかな説明会になったと自負しております。

今年度は特に学生の気質が良いようで、明るく前向きな姿を目にす  
ることができ、担当委員長としてとてもうれしく思いました。  
経営委員会として、一人でも多くの学生に幼稚園の先生を目指して  
もらえるように工夫を凝らし、加盟園の明るい教職員募集のお手伝い  
ができるように鋭意努力をして参ります。(経営委員長 牛島 武史)



西南学院大学での説明会



慶応義塾大学での説明会



筑紫女学院大学での説明会

## 平成25年度 就職キャラバン隊! スケジュール及び連絡先

### ★平成25年度 就職説明会 日程及び担当者・連絡先等

H25.7.3現在

### ★各校担当者及び連絡先

| No. | 学校名            | 日程                      | 出席予定人数 | 経営委員・理事担当者                                 |                     |                                   | OG・OB担当者 | No.            | 学校名             | 担当課(科)名                       | 連絡先          |              |  |
|-----|----------------|-------------------------|--------|--|---------------------|-----------------------------------|----------|----------------|-----------------|-------------------------------|--------------|--------------|--|
|     |                |                         |        | 園長   | 理事                  | 教諭                                |          |                |                 |                               | 住所           | 電話番号         |  |
| 1   | 純真短期大学         | 6月17日月曜日<br>15:00~16:00 | 95名    | 福岡幼稚園<br>園長 野口 利里                          | あすなる幼稚園<br>園長 柿迫 重正 | 飯倉幼稚園<br>教諭 立石 愛                  | 1        | 純真短期大学         | こども学科           | 〒815-8510<br>福岡市南区筑紫丘1-1-1    | 092-541-1513 | 092-552-2707 |  |
| 2   | 香蘭女子短期大学       | 6月18日火曜日<br>15:00~16:30 | 151名   | 福岡幼稚園<br>園長 野口 利里                          | 城南幼稚園<br>園長 小林 裕子   | 早良幼稚園<br>教諭 馬場 秀美                 | 2        | 香蘭女子短期大学       | 保育学科            | 〒811-1311<br>福岡市南区横手1-2-1     | 092-581-1538 | 092-581-2200 |  |
| 3   | 福岡こども短期大学      | 6月24日月曜日<br>13:00~15:00 | 190名   | 筑紫丘幼稚園<br>園長 谷 博子                          | あすなる幼稚園<br>園長 柿迫 重正 | あすなる幼稚園<br>教諭 川辺 美紀               | 3        | 福岡こども短期大学      | 就職部             | 〒818-0197<br>太宰府市五条3-11-25    | 092-921-9820 | 092-928-5210 |  |
| 4   | 福岡女学院大学        | 6月25日火曜日<br>15:25~16:55 | 100名   | 飯倉幼稚園<br>園長 牛島 武史                          | 星の原幼稚園<br>園長 納田 研二  | 飯倉幼稚園<br>教諭 小島 美紗                 | 4        | 福岡女学院大学        | 進路就職課           | 〒811-1313<br>福岡市南区日佐3-42-1    | 092-575-2477 | 092-575-2477 |  |
| 5   | 精華女子短期大学       | 6月26日水曜日<br>15:00~16:00 | 310名   | 笹丘カトリック幼稚園<br>園長 今田 昌樹                     | 飯倉幼稚園<br>園長 牛島 武史   | 吉塚ゆりの樹幼稚園<br>園長 高杉美稚子<br>教諭 川口 聡子 | 5        | 精華女子短期大学       | 学生支援課           | 〒812-0886<br>福岡市博多区南八幡町2-12-1 | 092-591-6335 | 092-572-0646 |  |
| 6   | 福岡女子短期大学       | 7月3日水曜日<br>14:40~       | 35名    | 福岡文化幼稚園<br>園長 伊崎 英次                        | ときわ幼稚園<br>園長 久保 えつこ | ときわ幼稚園<br>教諭 島 美里                 | 6        | 福岡女子短期大学       | 保育学科            | 〒818-0193<br>太宰府市五条4-16-1     | 092-922-9734 | 092-922-9734 |  |
| 7   | 筑紫女学院大学・同短期大学部 | 7月4日木曜日<br>13:10~14:30  | 100名   | カトリック光丘幼稚園<br>副園長 實 千鶴代                    | かなやま幼稚園<br>園長 筑紫 大介 | カトリック光丘幼稚園<br>教諭 白石 菜摘            | 7        | 筑紫女学院大学・同短期大学部 | 進路支援課           | 〒818-0192<br>太宰府市石坂2-12-1     | 092-925-9977 | 092-925-8171 |  |
| 8   | 西日本短期大学        | 7月9日火曜日<br>14:40~16:10  | 85名    | はらきた幼稚園<br>園長 栗野 美記子                       | かなやま幼稚園<br>園長 筑紫 大介 | 福浜幼稚園<br>教諭 守田 理沙                 | 8        | 西日本短期大学        | 保育学科<br>進路指導事務部 | 〒810-0066<br>福岡市中央区福浜1-3-1    | 092-721-1153 | 092-721-1536 |  |
| 9   | 中村学園大学・同短期大学部  | 7月9日火曜日<br>16:35~18:05  | 250名   | 周船寺第二幼稚園<br>園長 村上 満里子<br>飯倉幼稚園<br>園長 牛島 武史 | 星の原幼稚園<br>園長 納田 研二  | 周船寺第二幼稚園<br>教諭 渡部 楓               | 9        | 中村学園大学・同短期大学部  | 就職課             | 〒814-0198<br>福岡市城南區別府5-7-1    | 092-851-2576 | 092-851-2578 |  |
| 10  | 西南学院大学         | 7月10日水曜日<br>15:10~16:40 | 40名    | 飯倉幼稚園<br>園長 牛島 武史                          | 大原幼稚園<br>園長 山本 ミチ子  | 飯倉幼稚園<br>教諭 田中 美帆                 | 10       | 西南学院大学         | キャリアセンター<br>就職課 | 〒814-8511<br>福岡市早良区西新6-2-92   | 092-823-3321 | 092-823-3329 |  |

### ★福岡部会主催 私立幼稚園合同就職説明会★

【日程】平成25年8月1日(木) 13:30~16:00  
【会場】西鉄グランドホテル

参加園は30法人、49園。九州各県7県参加(プログラム参加も含む)参加学生は486名。過去最高の参加学生数でした。



合同就職説明会の様子



山王幼稚園 6月5日(水)

箱崎幼稚園  
教諭 磯田 知沙

山王幼稚園は、大きな楠の下を心地よい風が通り抜けたら、園舎にはツバメの巣があったりと、多くの自然に囲まれた温かい雰囲気幼稚園でした。

今回見せていただいた中で印象的だったのは、先生の声掛けです。活動は、絵本『100かいだてのいえ』のように、年長こゆき組の『25かいだてのいえをつくる』といったものでした。

クレパスを使って絵を描いていく中で、なかなかクレパスの手が進まない子がいました。しばらくしてようやく時計を描いたのですが、再び手が止まってしまいました。先生は、「○○くんのおうちは時計の下には何がある?」と問いかけ、その後ソファを描き始めたのを見て「上手く描けてるよ。しっかりと塗れているね。」と声を掛けていました。具体的な声掛けと、褒めて自信をつけることで子どもの意欲を喚起できたのだらうと思います。また、みんなの絵を繋げる時、先生が「のりは、だんごむしくらいのおおきさを取ってね。」と伝えているのを聞き、だんごむしは子どもにとって身近な虫であり、大きさが想像しやすく、共通理解をはかりやすいものであると感じ、そのように子どもの経験を理解した上で声掛けされていることが勉強になりました。



描いた絵が繋がり完成したのを見た子どもたちが「1、2、3」と数え始めた様子から、その長さへの驚きと嬉しさが感じ取れました。とても微笑ましい場面でした。

今回の公開保育で学んだことを早速日々の保育に取り入れて生かしていきたいと思っております。研修の場を与えていただきありがとうございます。



聖心ウルスラ幼稚園 6月19日(水)

高宮カトリック幼稚園  
教諭 鴻上 和沙

ウルスラ幼稚園は、元気な笑顔の挨拶で迎え入れられる子どもたちと、優しい笑顔のシスターや先生方がいる、とてもあたたかな雰囲気幼稚園でした。挨拶の時の元気な様子とは違って、排泄に行くときに廊下を走る子どもなく、子どもたちの活動のメリハリの区別がきちんとできていて驚きました。

今回の公開保育は年長さんの朝顔の製作でした。製作をするにあたって、自分たちがタネから育てている朝顔の鉢を用いて、どのように成長してきたのかを子どもたちと確認していました。朝顔を大事に育て、その成長のようすを喜ぶ気持ちが製作活動に反映されていて素晴らしいと思いました。保育をしている先生が1年目とは思えないほど落ち着いていて、作り方の提示も行程ごとに伝え、さらにポイントとなるところはより丁寧に伝えていました。思うように作業が進まず、涙がでてしまった子にもすぐに気づき、声をかけていました。先生が落ち着いて全体を見ていたからこそできたのだと思います。

今回、保育を客観的にみたくて、活動の進め方、援助を求めるとの子のサインや早く活動を終えた子への配慮などに気づきました。さらに、落ち着いて保育を行うためには、度重なるリハーサルと周到な事前準備が必要であると改めて実感しました。



幼稚園の先生になって3か月、園の中で先輩方にたくさん教えていただき、日々学んでいる最中ですが、今回同じ1年目の先生の保育を見ることで私に足りないところが見えてとても勉強になりました。今回の学びをさらに自身の力としていけるよう日々の保育に取り組みたいです。貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。



ゆきぞの幼稚園 7月3日(水)

室見幼稚園  
教諭 仁田原 美香

ゆきぞの幼稚園は自然に囲まれた中にあり、園舎の壁面には宇宙や海の中などの絵が描かれており、大人でもわくわくするような環境でした。

公開保育が行われたのは年中のぼんだ組さんでした。担任の先生が一人一人子どもの顔を見ながら出欠をとり、優しい視線や声かけをしていることが印象的でした。先生が落ち着いて保育を行っていらつしたたので、クラス全体が落ち着いているように感じました。

今回の公開保育で一番勉強になったことは、「子どものやりたい気持ちを尊重する」ということでした。実際に担任の先生も子どもたちの気持ちを大切にされているようで、子どもたちの気持ちを柔軟に捉えて、臨機応変に対応していました。ねらいに沿った保育をすることも大切ですが、そのときの子どもたちの気持ちに沿った保育をすることにより、新しい発見や楽しさが生まれることが分かりました。

保育を客観的に見ることができ、自分自身の保育を見直す良いきっかけとなり、今まで気づかなかったことに気づくことができました。今回学んだことが日々の保育に繋がるように努力していきたいと思っております。公開保育に参加させてくださった園長先生、貴重な体験をさせてくださったゆきぞの幼稚園の先生方、本当にありがとうございました。



なるほど！

# となりの 園内研修！！

前号よりはじまりました、気になる他園の園内研修に対する取り組みを特集する連載コーナー「なるほど！となりの園内研修！！」

園内研修の内容をはじめ、時間をかけずに短時間で、そして何より楽しい雰囲気の中で、効果的な研修結果を得るための様々な工夫をご紹介します。

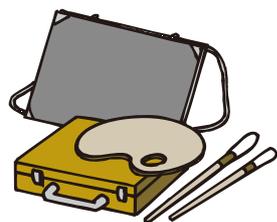
今回はあさひ幼稚園と貝塚幼稚園から、参加者の声をお届けします。

## 2013年5月13日 中村学園大学附属 あさひ幼稚園



## 『臨床美術』で個性を引き出す

### オイルパステルドローイング を体験



あさひ幼稚園主催による『公開型園内研修』に参加しました！他園の園内研修を受けることで、刺激をいっぱい受け楽しい時間を過ごさせていただきました。

テーマは、オイルパステルドローイングを用いての『臨床美術』。

同じ環境や道具のもと、描かれた作品は人がそれぞれ違うように唯一無二

の表現となりました。臨床という言葉は、一般的に医療や福祉の分野で用いられますが、臨床美術における臨床は「人に寄り添う」「人に向き合う」、そして「人がつながる」という意味でも用いられるそうです。

絵が上手とか下手とかではなく、心の感情が作品に現れる。それを、他者がどのように受け止め解釈するか、そ

れを言葉で表現してみようという楽しい活動でした。この体験をし続けると、いろいろなもの見方、とらえ方も新たにできるようになって視野が広がり、自分や他者への考え方も変わるなど、ポジティブな変化がたくさん出てきます。

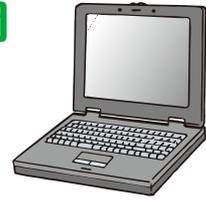
参加教師が描いた絵をホワイトボードに並べてみると本当に様々で実に面白い。

園でも、子どもの個性、自発性、主体性、創造性を大切にし、それぞれの表現を受け止めて引き出し、言葉できちんと応答することの大切さを感じた研修でした。  
(※広報委員)

なるほど!

# となりの園内研修!!

2013年5月24日  
貝塚幼稚園



## ズバリ「IT」化で

## 効率アップ!

### 時間を有効的に活用するには



2013年「春の号」より連載されたことになった『なるほど!』となりの園内研修!!』のコーナーですが、2回目となる今回は、東区に所在する貝塚幼稚園(園長・庄司誠先生)の事例を中心に紹介します。

さて、その貝塚幼稚園の園内研修のキーワードですが、それはズバリ「IT化」です!日々慌ただしい幼稚園教育の場において「時間を有効に活用していく(できる)」ことは、今後ますます幼稚園教諭の資質として求められるようになることであり、また園長や主任教諭など管理職に求められるマネジメント能力だとも言われます。

では一体、どのような工夫がなされているのでしょうか。今号では、園内研修を支える特徴的なIT環境と園内研修への活用に関する展望などについてお話を伺うことができましたので、早速ご紹介したいと思います!

### これが職員室!?

貝塚幼稚園の玄関を入るとすぐ左手に職員室があります。一見すると普通の職員室なのですが、なにか小さな「違和感」を覚えるのです。多くの幼稚園において(おそらく)見慣れた光景の一つにもなっている机の上に堆く積み上げられた書類の山(時に「山脈」を形成し、一部「崩落」を起こしているような場合もあり!)や、空き缶や空き瓶の中にギョウギョウ話めにされて悲

鳴を上げているペンやマジックなどのステーションナリーグッズの数々…。ところが、貝塚幼稚園さんにはこうした光景は一切見当たらないのです!。

職員室専用に使えられた特注の机の上に、大型のパソコンディスプレイが8台、整然とかつその存在感をアピールするかのようにとっしりと並んでいます。なんと、各クラス担任の先生方それぞれに個人専用のパソコンが存在するのです。「これは確か、幼稚園だったよね…」と疑わなければならぬくらい、ある意味衝撃的な光景でした。

### マザーの存在!? 情報の発信と集約、 そして共有

環境問題にも熱心な園だけに「幼稚園においてペーパーレスを意識して取り組んだ結果がこうした(IT)環境になったまです」と庄司園長。職員会議でも、このIT環境が活躍しているとのことでした。

多くの園において、園内研修や職員会議では紙媒体での資料が作成され、また配付されることが一般的だと思われる。しかしながら、貝塚幼稚園の場合、それが各クラス担任の机の上に設置されたディスプレイ上に表示され、共有されるという仕組みになっているのです。もちろん、必要に応じて各自がプリントアウトできる仕組みにも



なっていますので、結果として紙の無駄遣いということが無くなるのだそうです。  
そして、この仕組みの肝心なめとなるのが『マザー』の愛称で親しまれる(?!?)ホスト・コンピュータの存在です。主任教諭をお努めの今村先生の机上にあり、この『マザー』から様々な情報が発信され、さらにマザーにて集約され、そして全クラス担任により共有されるという仕組みになっています。

例えば、事前に園内研修や職員会議用資料が各クラス担任に「配信」されます。担任の先生方は各自、学年の作業や全職員での作業が必要な時間以外の、都合の良い時間を見計らって配信資料の内容確認が可能となります。結果、見通しや具体的な意見を持って園内研修や会議に臨むことができるようになり、何よりその時間短縮につなげられていました。

これ以外にも、クラス担任の先生方は、各自で可愛がっておられる(であろう!)MYコンピュータを駆使し、デジタル画面上でクラスだよりや園だより、幼児指導要録など様々な保育に関する記録物を作成し、管理されてきました。

おかげで机上はスッキリ! なるほど、当初の「違和感」にも納得納得の取組みにつながっているようでした。

## デジタル画面とアナログ画面での意思疎通

一方で、ここまでデジタル化が進むと先生方同士のコミュニケーションがなくなるのでは…との心配も。確かに、各先生方の机上に設置されていたディスプレイは、写真にあるようにかなりの大型で、ディスプレイ同士の間隔はわずか10センチ足らずなのです。「意思の疎通は、やはりFace to F

aceでなくては!」と考えるのが、多くの園長先生や幼稚園教諭の自然な考えではないでしょうか。

ところが、これも全くの杞憂でした。実際には、そのわずかな隙間越しにFace to Face、すなわち「アナログ画面」で情報の共有を図ったり、意見交換をしたりされているのでした。実際にその場面を再現していたのですが、「壁の隙間越しに愛を語りあう恋人同士(?!?)」のような状況で、何とも言えない独特の雰囲気醸し出されていました(笑)。再現していただいた先生方、ご協力ありがとうございました!

## それとなく…のコミュニケーション!

園内研修場面で大切になってくるのが、誰もが発言しやすい雰囲気づくりではないでしょうか。筆者の勤務するあさひ幼稚園でも、最近ではBGMを流したりします。クラシックやジャズ、ハワイアンミュージックなど、幅広いジャンルからチョイスされた音楽が流れます。そして忘れてはならないのが、ちよっとした飲み物やお菓子の存在です。飲み物も「お茶だけ」とか「コーヒーだけ」とかにせず、数種類の中から選べるようにしています。お菓子も口どけの良いチョコレートやクッキーなどがお勧めです。なぜか? 飴玉や固めの

せんべいなどは口の中でもごもごしなければなりませんので、当然のことながら話ができなくなってしまう。たかがお菓子のことなのですが、ちよっとした配慮が必要となります。

もちろん、貝塚幼稚園の先生方の机上にも、それとなく、さりげなく、でもしっかりとクッキーのようなものが置かれていました。園内研修には欠くことのできない「ヒミツ」がここにもありました。その光景を写真に収めようとすると、慌てて、それとなく、さりげなく、でもしっかりとクッキーのようなものを隠そう(?!?)とされた先生もいらっしゃいましたが、心配ご無用! 飲み物やお菓子は園内研修や会議を円滑に進めるためのいわば重要な小道具なのです。飲みすぎない程度に、また食べ過ぎない程度に大いに活用しましょう! 園長先生方、是非ご配慮を!!



## 園内研修への 新たな取り組みの 可能性

さて、専門職として学び続ける姿勢が求められる幼稚園教諭にとって、園内外での研修はなくてはならないものです。ところが、ある調査によれば、「研修の必要性」は十分理解しているものの、実際には多くの幼稚園教諭が「研修時間の確保」の困難さを指摘しています。研修を受けなければ、幼稚園教諭としての専門性の向上や実践力の向上は期待できません。しかしながら、幼稚園に対する社会的な期待が大きくなればなるほど、研修を受ける時間さえなくなるといった悩ましい現実があります。

そこで問題になってくるのが時間の使い方です。園内研修も、ただだらと時間をかけてやればいいというものでもありません。短時間で効率よく研修を行うための各園の取り組みが必要になってきます。ここに貝塚幼稚園の「T化された環境が功を奏するのです。園長自らブログを立ち上げておられる園だけに、園のホームページには様々な情報が盛り込まれています。園外における研修風景なども動画で提供されています。

つまり、貝塚幼稚園における新たな取り組みの可能性としては、どこの幼稚園

でも行われていると思えますが、園外での研修成果を共有するための園内研修の取り組み方に、工夫できる可能性が高いということです。例えば、カメラ付携帯電話やスマートフォンの活用の幅が広がるということです。もちろん、著作権や倫理上の問題もありますので、研修場面などをカメラ等で撮影するなどは必ず主催者側の了解を得なければなりません。専門職として忘れてはならない大切なことです。

研修会参加者は写真や動画で研修成果や研修風景を記録し、研修会終了後ただちに幼稚園のマザーに送ります。研修会に参加していない先生方は、マザーより配信される映像を、それぞれ都合の良い時間に閲覧できるようにしておくことで、担当者が研修の実際を

報告し、共有する場になった時には、多くの予備知識を持って園内研修や会議に臨むことが可能になるといえることです。報告者にしてみれば、必要以上の説明が省けますので、結果的に時間短縮につながると考えられます。膨大な紙ベースの資料作成も必要なくなります。デジタルデータとして保管できるということは、共有できる対象者にも広がりがあるといえることです。この点についてももちろん配慮は必要です

### まとめにかえて ―園内研修の取り組み を地域の園同士で 共有する―

今回は、貝塚幼稚園のデジタルな園内研修の実施と今後の可能性について報告させていただきましたが、今後は是非、地域に所在する幼稚園同士、園内研修のあり方について情報を共有することを勧めします。「夢物語…」と思われる先生方もいらっしやるかもしれませんが、神戸市の民間保育園では、地域に所在する保育園の園長先生同士がお互いに各園の「準備されていない公開保育」（愛称…みてみて保育）、すなわち普段通りの保育実践を巡回しながら見学されるなどの取り組みも始まっています。

幼稚園教育の質を高めるためにも、また先生方の資質を高め、組織的な保育力の向上を図るためにも、「地域等のネットワークの有能さ」(E.U. 2011)が求められる時代になってきています。「胸襟を開く」ことで得られる、職能団体としての知の形成を、まずはこの園内研修に関する情報公開を皮切りに始めてみませんか？

最後になりましたが、貝塚幼稚園の庄司園長先生ならびに教職員の皆さま、取材へのご協力、本当に有難うございました。  
(※広報委員)

# なるほど！ となりの 園内研修！！

次号もお楽しみに！



日時：平成25（2013）年6月21日（金）10：30～  
 場所：私立幼稚園教育センター 出席：27園 88名  
 講師：古川クッキングスクール校長 古川 年巳氏

### 古川 年巳氏 プロフィール

大学で栄養学を学んだ後、土井勝氏の下で10年に渡り修行を積む。母校やカルチャースクールでの講師活動を経て、自ら「古川クッキングスクール」を立ち上げ、現在も校長を務める。

その傍ら、地元福岡のテレビ番組の料理コーナーにレギュラー出演。番組では常に博多弁丸出しの親しみやすいトークを展開している。

#### ●席田幼稚園 保護者 関 希世子さん●

講演を通してまず感じたのは、古川先生ご自身がしっかりとお客様から「母の味」を受け継いでいらっしゃるからこそ、ひとつひとつのお言葉が心に響いたという点です。

「食」は体をつくり「料理」は心をつくる。暮らしの中で、母を感じるために、手作りで食べさせて欲しい。

ただ「食す」のではなく、母親が手を掛け、「感謝」や「優しさ」といった心を入れて「料理」することで、「母」を食べさせる各家庭の味、母のことを考える優しい子供になる。

「母の味」を通して作り手のことを考え、感謝する優しい心を育てることは、料理に限らず、生きていく上で大切な力になると考えます。

なぜ手作りの食事が大切で、なぜ「母の味」を伝えることが大切なのか。

「母の味」は「母の心」であり、子供にとって「手作りの料理」は母親像の形成の礎ともなり、食を通して、各家庭の味を伝えることで、心の教育を担うのが母親の役目ではないかと考えます。

それぞれの環境下で、上手下手に関わらず、それぞれの母の味に値打ちがあるというお言葉に励まされ、雑事に追われる毎日ではありますが、「手を抜くと、心が抜ける」という言葉を胸に、「手を掛けて、心を入れて」食生活を大切にしていきたいと考えます。お忙しい中、ありがとうございました。



食を通して心の教育を担うのが母親の役目

#### ●席田幼稚園 保護者 川口 敦子さん●

農家のご家庭に生まれ育った古川先生は、お母様も農作業に忙しく、毎日ひたすら野菜の煮物ばかりの夕食やさつまいもを煮ただけのおやつが、当時はとても嫌だったとお話されました。でも全然嫌そうでなくむしろ楽しそうに面白可笑しく話されるのはなぜ？と引き込まれるように聞いていたら、それはお母様の料理に優しさ・愛情をいっぱい感じていたからだとなりました。

ご馳走でもご馳走じゃなくてもいい、上手でも下手でもいい。ちょっとした手作りの中に子供が感じることもある。感謝と優しさを入れたら料理が美味しくなる。手抜きは「心」が抜けるので、手をかけて食事をしないといけないのだと。時間に追われ、食事は手をかけるどころか、早く・簡単に終わらせようとするばかりだった毎日を反省しきりでした。

でも、決して何か特別なことをしないとはいけな



と家族みんなでワイワイ会話をしながら食べるカレーは全然美味しさが違う。料理は舌で味わうのではなく、心で味わい心で食べるものだとして先生は教えてくれました。

「おふくろの味」とは、「料理」ではなく「お母さんという人間そのもの」を食べさせること。お母さんのことを考えながら食べるので、大きくなってからお母さんを考えるようになり、お母さんを大事にする子供になる。そして「おふくろの味」によって子供は心と身体が出来て、将来お金に換えられない「健康」という財産が得られるのだそうです。

古川先生の、楽しく面白く、でもとっても涙もろい優しいお人柄を間近で拝見して、きっと愛情あふれる「おふくろの味」で育てられたのだろうなあとお母さんご自身がこのテーマを証明しているように感じました。

私も大切な家族のため、出来るだけ手をかけて優しさをいっぱい入れた食事を心がけたいと思いました。

「おふくろの味」で  
お母さんを大事にする子どもに

## PTA指導者研修会 演題：一人芝居 『決断・命のビザ 杉原千畝物語』

日時：平成25（2013）年6月12日（水）9：30～  
場所：私立幼稚園教育センター2階大ホール  
出席：89園 366名  
講師：水澤 心吾氏



開会の挨拶では、近年“私立幼稚園の無償化”について論議が高まっており、連盟でも署名活動等を行いその実現を目指しているということ。また、園児をサポートする幼稚園の方針に従って、園と保護者との懸け橋になるという“PTA役員の役割について”を述べられた。

続いて講師・水澤心吾氏による講演『一人芝居「決断・命のビザ～杉原千畝物語～」』へ。ストーリーの概要は次の通りである。

第二次世界大戦中、杉原千畝氏はリトアニアのカウナス領事館に赴任していた。そこにナチスドイツにより迫害されたユダヤ人達が、日本通過ビザを求め押し寄せた。その数およそ数千人。その中には大人だけでなく、子どもの姿もあった。数人のビザなら領事の権限で発行出来るが、数千人ものビザとなると本国の許可が必要となる。電報を打って問い合わせたが、日独伊三国同盟締結へとまっしぐらであった日本政府は「ユダヤ人難民にはビザを発行しないよう」回訓を与えてきた。自分には妻も幼い子どももいる。国に逆らえば職を失いかねない。それどころかナチスに命を狙われる可能性だってある。けれども、目の前にいる人々を、見殺しにする

ことなんて出来ない。

一晚中悩みぬいた末、杉原氏は外務省の意向に背き、自らの判断でビザ発行を決断した。それから約一か月間。杉原氏はビザを書き続け、これにより6,000人以上ものユダヤ人の命が救われた。

一人芝居を演じる水澤氏は、国に背いても人の命を救う道を選んだ杉原氏の苦悩と勇気、またその辛さの中で、同じ危険を覚悟した彼の妻や子どもとの絆についても語った。

加えて、杉原氏によって救われたユダヤ人が新しい命を生み育てて、今では25万人もの子孫から感謝し続けられていることも、併せて紹介された。

頭で理解しつつも普段の生活の中で深く考えることのない『命の尊さ』『人は皆平等である』ということを、水澤氏演じる杉原千畝氏の一生を通して感じる事が出来ました。普段私たちは「頭のいい子に…、スポーツの出来る子に…」と願望ばかりが先になってしまう。しかしながら、まずは「命を大切にできる子」に育てていこう、とそう思わせる講演でした。  
(室見幼稚園 保護者)

## 実技研修会 『わらべうたであそぼう』



日時：平成25（2013）年  
6月6日（木）15：30～  
場所：私立幼稚園教育センター  
出席：23園 39名  
講師：わらべうた指導員 松本 節子先生



「わらべうたに一番大切なことは、手をつなぐこと」全員で大きな円隊形になり『つんなごう』を歌いながら歩いた。小さなわらべうたにも意味がある。このうたの背景には、昔、大飢饉があり、荒戸の浜まで子ども達が手をつないでおかゆをもらいに行く時に歌っていたという。意味を知り、改めて歌うと、とても大切なうたのように思えた。

松本節子先生は、素敵な歌声でいろいろなわらべうたを教えて下さり、わらべうたのすばらしさを沢山話して下さいました。

わらべうたの中には、子どもの身の周りの物が出てきて、自分で自由にイメージしながら楽しめること。又、世の中で一番シンプルなうたで、主に二音で構成されている為、子ども達が簡単に覚えられ、楽しく歌えること。そして、全て日本語であること。

時間が経つにつれ、参加者全員、松本先生や中村先生の美声に引っぱられるように、どんどん声が出て、ホールいっぱい

いにきれいな声が響き渡った。私は、次第に心地良いと感じるようになった。そこには、わらべうたが持つ独特の拍到ひみつがあった。それは、いつも同じ拍なので、とても安心な気持ちになれるのだ。そして、小さい時にお母さんや友達と、安心な気持ちでわらべうたあそびを沢山体験するということは、人間形成にとっても大切な事だと松本先生は話して下さいました。私は、いつの間にか童心に返り、楽しかった記憶を感覚的に思い出していたのだろう。

今回の研修を通して、わらべうたのすばらしさや、楽しさを十分に感じた。鬼決めや、ジャンケン遊びの中にも、いろいろなうたがあり、心が踊るような楽しい気持ちになった。又、年齢に応じて展開して遊べる所も、わらべうたの魅力のひとつだ。

子ども達が、わくわくしたり、つい笑ってしまうような、楽しいわらべうたを教えて頂いたので、今後も子ども達と沢山体験、豊かな時間を共に過ごしたいと思った。

(参加教師 佐伯恵美)

## 設置者・園長研修会 演題：「命を大切に～可能性を信じて」

日時：平成25（2013）年5月31日（金）15：00～  
場所：福岡ガーデンパレス 出席：94園 110名  
講師：渡部 陽一氏



渡部陽一氏は、現在、戦場の悲劇とそこで生活する民の生きた声に触れながら、世界の人々に伝えるジャーナリスト、戦場カメラマンとして活躍されています。取材は戦争が起こっている国々の家族模様や子どもたちの生活を中心とし、住民たちとともに長期にわたり生活し暮らしていく事で次第に見せてくれる「ありのままの表情や生の声」を大切に取材されておられます。

講演会では、戦場で生活している人々の家族の絆や取材を通じて見えてきた人間が持つ愛の深さ、命の大切さ、生きることの素晴らしさなど、普段ニュースで見ている戦場とは異なる一面を実際の写真とともにお話くださいました。

20歳の時、恩師のピグミー族の話でアフリカに興味を持ち、格安航空券を購入して一人旅に出た。しかし、そこで目にしたのは血だらけの子どもが「助けてください。」と泣いている姿であった。何か自分にできる事はないだろうかと考え、大好きな写真で子どもたちを撮り子どもたちの声を世界中の人に伝えようと今の仕事に就いた。

現在、石油をめぐりイラクでは戦争が起こっている。朝から晩まで自宅の玄関の前に銃を持った兵隊が立ち家の中を狙っている。多くの爆弾が落とされ毎日逃げ惑う生活である。戦争の犠牲者はいつも子ども達だ。爆弾で吹き飛んだガラスが子どもたちの目や頭、体に突き刺さる。病院も爆破されているため治療もできず、親の目の前で子どもた

ちが次々と死んでいく。母親は子どもを自分の手に抱え地面に穴を掘りお墓に埋葬している。実はイラクでは秘密の内に劣化ウラン弾が何発も落とされている。劣化ウランは空気中や土、川の中に入り人が口にする食べ物の中へと潜りこんでいく。その食べ物は、母親の口から胎児へと入り生まれた子どもは目が見えない、白血病、悪性腫瘍に覆われている。ある時、イラクの子どもたちを助けようと世界中の医者が立ちあがった。日本、韓国、イギリス、フランス、イタリアから医者たちがイラクへ向かった。北海道からも薬がたくさん集められて飛行機でイラクに送られた。しかし、子どもたちに手が届く直前でテロリストたちにより医者が捕まえられ薬は燃やされた。戦争の犠牲者はいつも子ども達である。

そのような中、小学校の校長をしているナジム氏が子どもたちのために学校を開いた。イラクの教科書にはアラビア語で「イラクにとって子どもは宝。子どもたちに教育を施すことはイラクの義務である。メソポタミア文明発祥の国イラク。教育が生活の柱。」と書かれている。しかし、子ども達の手には教科書がない。ナジム先生はすぐに教科書を借りに走った。泣いてばかりいたイラクの子どもたちに笑顔が戻って来た。

ナジム先生の自宅の食卓。イラクでは戦争中でもお金を払うとお米、小麦、油、缶詰が手に入る。だからナジム校長先生が食べ物を手に入ると近所の子どもたちを呼び集め分け与える。私たち日本の生活と違ったこと。それは家族みんなで力を合わせて1日1日生き延びること。1日1回だけでいい、ご飯を食べることである。（※広報委員）

## 設置者・園長研修会 演題：「幼小連携の実際」

日時：平成25（2013）年6月25日（火）  
15：30～17：00

場所：私立幼稚園教育センター

出席：24園 26名

講師：西南学院大学教授 門田 理世氏



門田先生からの提案のもとに、参加者が2人から3人のグループで、「幼小連携のための今年度の自園での取り組みと課題」について話し合った。その結果を報告し、具体的な事例の中での課題を参加者で共有しあうことができた。

その後、連携の課題について、以下の2点を門田先生から深めていただいた。

第1に、連携を困難にする要因として、教員免許取得のシステムが幼稚園と小学校で分断されていることをアメリカ

システムの比較から学んだ。

第2に、幼稚園は心情を伴う経験を着実に積み上げている事実を、保育の写真から説明された。幼児教育での経験が学習へと継続するという重要性について、小学校へ伝えることのできる人材を幼稚園の現場から育てる必要があることを確認した。（※広報委員）

## 第53回 政令指定都市私立幼稚園団体協議会（横浜大会）

大会テーマ：「あらためて子どもの未来を拓く」

～今、政令指定都市私立幼稚園の使命とは～

日時：平成25（2013）年7月11日（木）・12日（金）

場所：横浜ロイヤルパークホテル



### 開会式 大会宣言

横浜市長 林 文子氏

平成24年8月通常国会においての『子ども子育て関連3法案』成立よりほぼ1年の歳月が経過しました。私達私立幼稚園は、来たるべき新制度の中、改めて子どもの未来を見据え、幼稚園教育の目標を問いただし、子どもたちが享受すべき利益をどの様に考え、子どもたちのより望ましい育ちは何か、私立幼稚園の果たす使命について考えていきたいと大会宣言されました。



### 〈基調講演〉

演題：『大人の気づき、子どもの成長』

講師：ノンフィクション作家

柳田 邦男氏



大人（親も社会も）は、子どもが秘めている可能性について十分に理解していない。核家族化の中で、両親ともに働く時代になり、子育ての一番大事なことに、親が十分に理解していないまま、子どもに対処しているという状況になっている。子どもの可能性は何か、親はどのように気づくべきかという課題を巡って、様々なお話をいただきました。

柳田氏は、デジタル化が急速に進む昨今、子どもたちの言語環境が貧弱、希薄になってきていることを心配されており、特に肉声、生の言葉の希薄化が著しいと言われました。子どもにとって言葉が育たないと、表現力や感性も育ちにくくなり、他者と感情の共有が難しくなる。

大人が携帯やスマートフォンをのぞき込んでメールなどでコミュニケーションを済ませる割合が増えている分、子どもたちは大人の肉声で濃密な会話を日常的に聞くという言語環境が減っている。こどもは直観的・靈感的に大人が思うよりも物事をよくわかるのだから、大人の会話の中での使う言葉、こどもの耳から入る言葉、言語環境を大切にすることを忘れてはいけない。家庭読書（家読）、特に絵本の読み聞かせを上質な子どもと共有する時間と捉え、子どもの言葉の能力を向上させ、よい人格形成に働きかけようと言われました。（※広報委員）



## 一般社団法人移行記念 教職員祝賀会

日時：平成25（2013）年8月26日（月）

場所：ソラリア西鉄ホテル 8階 彩雲

出席：66園 269名

今年4月に一般社団法人に移行した福岡市私立幼稚園連盟を記念し、DJパーソナリティ・タレントのBUTCH（永淵幸利）氏の司会進行により盛大に祝賀パーティーがソラリア西鉄ホテルで開催されました。市長代理の福岡市子ども未来局局長の吉村展子氏により来賓のご挨拶をいただき、創立30周年以上の幼稚園と永年勤続職員に表彰状並びに感謝状を贈呈していただきました。



会場では、幼稚園関係者の慰労を兼ねて豪華な食事が振る舞われ、大変和やかに歓談を楽しんでいるなか、超豪華賞品が当たるじゃんけん大会、クイズ大会、抽選会などでさらに会場が盛り上がりました。

## 福岡市私立幼稚園連盟海外研修

日時：平成25（2013）年  
7月25日～28日

参加者：12園 20名

訪問先：フィリピン・セブ島 現地幼稚園視察



7月25日～7月28日の4日間、フィリピン・セブ島での海外研修に参加させていただきました。幼稚園視察やマングローブ植林など私にとって初めての貴重な経験をさせていただき、また現地の生活環境や暮らしを間近に見ることもでき、沢山学ばせていただきました。まず、幼稚園視察ではセブ島のラブラブ市ソオンに所在するST. NINO MONTESSORI SCHOOLに行きました。ここは同じ敷地内に幼稚園と小学校があり、今回、幼稚園の年少クラスの子どもたちと交流させていただきました。訪問するまでの間、どのような子どもたちがいるのだろうか、言葉や気持ちは伝わるだろうか…と少し不安でしたが、教室では教師

の方々と子ども達が笑顔いっぱい私達を迎えてくださいました。ここでは、手遊び（グー・チョキ・パー）を日本語版で紹介し、英語版で一緒に楽しんだり、日本の昔遊び（なべなべそこぬけ、折り紙、紙風船）を紹介し、実際に遊んでみたりと限られた時間ではありましたが子どもたちに楽しんでもらうことができ、とても充実した視察となりました。

また、マングローブ植林では1人100本の苗木を植えました。何年かかけてゆっくりと成長するこの苗木がやがて風や波から陸地を守ったり、多様な生き物の生息場となったりと役に立つことを想像すると嬉しく思います。

その他にも様々な経験をさせていただきました。このような機会を設けていただき本当にありがとうございました。  
(参加教師 児玉佳美)

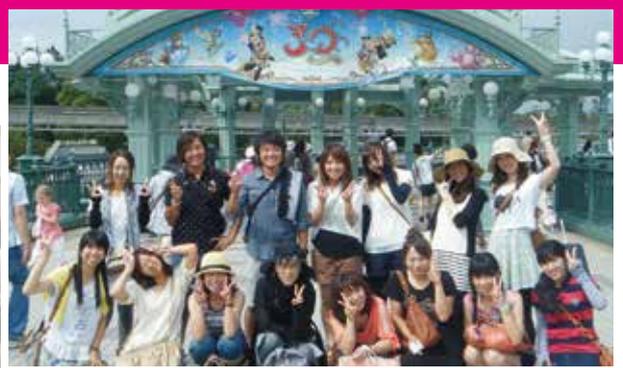


## 上級者教職員研修会

日時：平成25（2013）年  
7月25日～27日

参加者：11園 14名

訪問先：川崎ふたば幼稚園  
・東京ディズニーランド



まず東京に着いて川崎ふたば幼稚園を見学させていただきました。「自然が少ないからこそできるだけ自然を」ということで、アップダウンのある丘やログハウスがあるなど自然のぬくもりが感じられる物がたくさんありました。特に滝や池、階段を上がると広がる自然の空間は印象的でした。子ども心をくすぐる工夫がふんだんに盛り込まれています。iPadやPCを取り入れた教育もしており子どもたちがiPad等を扱い写真を撮るなどして興味を持った物を記録したりしているそうです。

今回の研修会の引率をしていただいた吉塚ゆりの樹幼稚園の高杉美稚子園長先生による講義「心のストレッチ」は、実践を交えての講習会だったのでごくわかりやすく最後には涙を浮かべる先生もいました。

その他の都内見学、ディズニーランドでは、先生同士すぐに仲良くなり大はしゃぎする場面がいくつも楽しんでいました。

笑いが絶えない研修会となりました。

(参加教師 木村光裕)

# 福岡地区 第23回 幼児相撲大会 久山場所

さる、6月23日(日)、久山町の相撲場において第23回福岡地区幼児相撲大会が開催されました。

当日は、10園20チームが集まり、まわしを付けた元気いっぱいの子びっこ力士たちが家族の大声援のなか全力で大相撲を繰り広げました。

勝ち進んだちびっこ力士も悔し涙を流したちびっこ力士も、「礼に始まり礼に終わる」精神で相手への敬意を忘れず、土俵から降りた時の表情は清々しく、多くの大人たちに感動を与えてくれました。



**優勝** 宇美幼稚園A **準優勝** きりん幼稚園A **第3位** 長丘幼稚園A



ダリア幼稚園年長  
古川蓮音(れん)ちゃん

大会、初取組の勝者のダリア幼稚園年長・古川蓮音(れん)ちゃんは、年中さんから少しづつ練習をはじめ、今大会に向けて1か月前ぐらいから本格的に練習に取り組んだそうです。「勝つてうれしかった!また勝ちたい!」と小柄なかわいい女の子力士ですが、なんとも力強い意気込みを表してくれました。



福岡市私立幼稚園サッカー新人戦大会が8月23日(金)に東区の雁ノ巣レクリエーションセンター球技場で行われました。厳しい暑さの中、市内から16園43チーム・約550人が参加し、盛大な大会となりました。



力強い選手宣誓で幕が開けた大会は、各リーグに分かれて一斉にキックオフで熱戦がスタートしました。子どもたちはカラフルなチームユニフォームを身にまとい、チームのために一丸となってボールを追いかけました。

年長児の試合では、びっくりするスピードとテクニックと好プレーが見られ、保護者の方々の熱い声援と拍手が沸き起こっていました。



最後まであきらめずにボールを追いかける子どもたちの一生懸命な姿に感動すると共に、試合を終えた子どもたちの清々しい笑顔と達成感に大人たちの私たちが勇気と大きな幸せをプレゼントされたようでした。

大会結果は、以下の通りです。

## 福岡市長杯 第29回 福岡市私立幼稚園 サッカー新人戦大会

### 参加園

あすなる幼稚園(2)、油山幼稚園(5)、けご幼稚園(4)、さつき幼稚園(5)、自由ヶ丘幼稚園(3)、長丘幼稚園(1)、はらきた幼稚園(1)、福岡幼稚園(2)、福岡いずみ幼稚園(2)、福岡文化幼稚園(2)、ふくはま幼稚園(1)、別府団地幼稚園(3)、星の原幼稚園(2)、松崎幼稚園(2)、松原幼稚園(3)、紅葉幼稚園(4)

※( )内は、参加チーム数 園名は、あいうえお順

主催：福岡市教育委員会・福岡市体育協会・福岡市レクリエーション協会・福岡市体育指導委員連絡協議会・福岡障害者スポーツレクリエーション協会各市区体育振興会  
主管：福岡市私立幼稚園サッカー連盟・福岡市サッカー協会・市民スポーツ大会実行委員会  
協力：アピス福岡・大阪フォトサービス・モルテン・フォトクリエイト  
協賛：西部ガス



### チャンピオンシップリーグ

**優勝** メープルリーブス 紅葉幼稚園  
**準優勝** 油山カメラアーズイエロー 油山幼稚園  
**第3位** さつきFC-A さつき幼稚園

### にこにこパワーリーグ

#### <Aパート>

1位 文化レッド 福岡文化幼稚園  
2位 油山カメラアーズグリーン 油山幼稚園

#### <Bパート>

1位 FCほしのはらB 星の原幼稚園  
2位 油山カメラアーズピンク 油山幼稚園

#### <Cパート>

1位 メープルパワーズ 紅葉幼稚園  
2位 長丘ラッキーズ 長丘幼稚園

### ちびっこJリーグ

#### <Aパート>

1位 けごA けご幼稚園  
2位 まつばらJBエメラルド まつばら幼稚園

#### <Bパート>

1位 文化ブルー 福岡文化幼稚園  
2位 はらきたシューターズ はらきた幼稚園

#### <Cパート>

1位 あすなるビクトリーズレッド あすなる幼稚園  
2位 松崎FC-B 松崎幼稚園

#### <Dパート>

1位 松崎FC-A 松崎幼稚園  
2位 けごD けご幼稚園

平成  
25年度

すこやかな子どもをはぐくむ  
新しいせんせい

# こども 環境管理士

Kids' Environmental Facilitators

## 資格試験

申込期間 8月1日(木)～10月11日(金)

筆記試験 11月17日(日) 14:00～16:00 13:50着席  
東京会場 大阪会場 福岡会場

ほか、学校が試験会場になる「キャンパス受験」、団体・企業による自主運営の会場「サテライト会場」の制度があります。  
また、平成25年度の試験より試験時間は14時スタートとなりました。

口述試験 2月15日(土)

1級における筆記試験の合格者のみ、東京23区内にて実施します。

受験手数料 1級 13,000円 2級 8,000円

1級を受験するためには、一定の「受験資格」を満たしている必要があります。なお、平成24年度の結果では、1級で約40%、2級で約50%の合格率でした。

「幼稚園教育要領解説」では、幼児期にどのような環境下で生活し体験を積んだかが、その後の将来にわたる人間形成に重要な意味をもつと記載されています。子どもたちの自然体験の減少が危惧される昨今、日中の大半を過ごす幼稚園に、限られた空間でも自然を配置することが大きな意味をもちます。

豊かな感性の育成など、皆さまがすすめる幼児教育をより充実させるお手伝いとして、福岡県では、幼稚園教諭などを対象に、自然を生かした体験の場づくりの研修や情報提供を行っています。今回は、公益財団法人日本生態系協会が実施する「こども環境管理士」の認証制度をご紹介します。

福岡県からのお知らせ

どんな資格?

『こども環境管理士』は、思いやる心や命、ものを大切にすることを、自然との触れ合いを通じて育む、幼児教育の新しい先生です。本資格は、自然を生かした体験の場づくりの実力や意欲を証明する日本で唯一のものであり、環境教育の指導者として環境大臣や文部科学大臣にも認められています。

こども環境管理士になることで、ご自身の専門分野を確立し、“自信”という大きな力を得ることが出来ます。自然と触れ合える園は保護者にとっても魅力的。ぜひ園として資格取得をすすめてください。

申込方法 **まずは「受験の手引き」をご入手ください。**

**試験の要項と受験申込書のセット『受験の手引き』を、日本生態系協会の公式サイトでダウンロードしてください。**

こども環境管理士

「受験の手引き」は郵送することもできます。角型2号封筒(宛先を明記ください)、240円切手(封筒には貼らないでください)を同封の上、(公財)日本生態系協会 こども環境管理士係まで送付ください。

お問い合わせ先

公益財団法人日本生態系協会  
こども環境管理士係

〒171-0021

東京都豊島区西池袋2-30-20音羽ビル

TEL:03-5954-7106 FAX:03-5951-0246

受付時間: 月～金曜日 9:00～18:00

土曜日 9:00～15:00

## 平成26年度園児募集ポスターが できました!

昨年に続き、  
イメージキャラクター  
として、女性タレント  
の斉藤ふみさんが起用  
されました。

ポスターは防水性の高い  
ユポ紙を使用していますので、  
屋外でもご利用できます。  
ぜひ、掲示のご協力をお願い  
申し上げます。

テレビCMも9月10日～9月23日まで(TNC、RKB、FBSにて)放送されました。



## 編集後記

この夏、例年より早い梅雨明けでよかったと思ったのもつかの間、毎日尋常ならぬ暑さが続きました。気象庁が統計を取り始めて以来、西日本は最も暑い夏だったと発表したことにも頷けます。

日本人は本来、四季を楽しみ季節の移り変わりに対する繊細な感受性を持ち合わせた民族だと思のですが、この極端な気候の変化に繊細さが麻痺してしまわないか心配です。短い秋になるかもしれません。紅葉などおもしろい満喫したいものです。

広報委員長